

報道関係各位

2024年5月16日

現場の清掃で大活躍！ 自律型掃除ロボット「KEMARO K900」レンタル開始

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、AIと3Dカメラを搭載した自律型掃除ロボット「KEMARO(ケマロ) K900」のレンタルを2024年5月20日(月)から開始いたします。



現在、働き方改革関連法にともない労働基準法が改正され、労働者の高齢化や人材不足による長時間労働、週休2日に相当する4週8閉所の問題は建設現場だけではなく、あらゆる生産現場の共通の課題とされています。今回、2024年問題の対応策として、本来の現場作業や業務に含まれていない清掃作業を自律型掃除ロボット「KEMARO K900」を活用し、人手に頼らないことで、省人化となり労働時間削減、現場での生産性向上に貢献します。

「KEMARO K900」の運転モードは、リモコン走行、ランダム走行、マッピング走行と3つのモードがあり、レーザーセンサーによるマッピング設定とスケジュール設定をあわせて行うことで作業員がいない時間帯の自動清掃を行うことができます。

ブラシは、両サイドに2か所と本体下部にもロータリーブラシを装着しており、ゴミは後方の35L大型ゴミタンクへ回収します。ブラシの毛足が長いので壁際の掃除ができ、濡れた床も清掃可能です。

安全装置は、障害物センサーとブラシ部分に付いているバンパーセンサーと落下防止センサーを搭載しています。

アクティオは今後も「レンタルティンギ」のノウハウを活かし、生産性を向上させるサービスや製品を提供していきます。

■「KEMARO K900」特長

- ①レーザーセンサーでマッピング設定、PC でスケジュール設定を行うことで、設定した時間になると清掃開始、終了後は自動で充電ステーションへ帰還
- ②2種類のブラシでゴミを集め、35Lの大型タンクへ回収
- ③濡れた床も掃除が可能
- ④ブラシの毛足が長いため、壁際の掃除も簡単
- ⑤本体前方に持ち手を搭載し、持ち運びが簡単

※完全防水ではないため、屋外での使用はできません。

■3つの運転モード

- ①リモコン走行 : ゲームコントローラーによるリモコン操作
- ②ランダム走行 : AIと3Dカメラによるランダム走行
- ③マッピング走行 : レーザーセンサーによるマッピング機能で自動清掃

■安全性



3Dカメラにより障害物を感知



落下防止装置を搭載



バンパーセンサー搭載で衝突軽減

■ペットボトルなどの大きなゴミから粉塵までさまざまな大きさのゴミに対応



KEMARO K900



小石・コンクリート



瓶



割れたガラス



ペットボトル



紙



釘・ネジ



緩衝材

こちらの商品は、2024年5月22日(水)から24日(金)まで幕張メッセで開催される「第6回 建設・測量生産性向上展 CSPI-EXPO2024」に出展いたします。

■スペック

呼称	KEMARO(ケマロ) K900	
有効幅	(mm)	900
ゴミ容器容量	(L)	35
ゴミタンク質量	(kg)	15
清掃能力	(m ³ /h)	1,000
最大速度	(m/s)	0.7
最大勾配	(%)	12
バッテリー	リチウムイオン 36V/540Wh	
運転可能時間	(h)	2~5*
充電時間	(h)	2.5
動作温度	(℃)	-20~45
許容保管温度	(℃)	-10~45
推奨保管温度	(℃)	10
動作環境の相対湿度	(%)	25~85(結露なきこと)
粉塵抽出時の音圧レベル	[dB(A)]	66~72
寸法(L×W×H)	(mm)	790×720×350
質量(バッテリー含む)	(kg)	32

*清掃設定によります。

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使

うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本商品に関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ エンジニアリング事業部 建築部

TEL:03-6666-2548